

**価格.comリサーチ『2014年 スマートフォン利用状況調査』**

スマホの所有率は62.6%で、3年前の前回調査時から20ポイント上昇  
所有メーカーはアップルの「iPhone」シリーズ（34.7%）が依然トップ  
「iPhone 6」への購入意欲、回答者全体の3割以上が前向き  
購入検討者の約4分の1は「キャリア乗り換え（MNP）」を検討  
低価格SIMカード、全体の半数以上（52.9%）が興味あり、潜在ユーザーは多い  
URL：<http://kakaku.com/research/report/080/>

株式会社カカクコムが運営する購買支援サイト『価格.com（カカドットコム）：<http://kakaku.com/>』が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第80回価格.comリサーチ「2014年 スマートフォン利用状況調査」の結果を一部抜粋の上、ご案内します。

**【結果ダイジェスト】**

- 所有率：62.6%、前回調査（2011年8月）から20.7ポイント上昇。
- 現在使用中の端末をいつから使っているか・何台目か：「1～2年前」（21.9%）、「2～3年前」（21.7%）からの使用者多数。台数は「1台目」（40.5%）が最多、次いで「2台目」（32.5%）
- 所有メーカー：「iPhoneシリーズ」（34.6%）が依然トップ。「Xperiaシリーズ」（18.0%）、「AQUOS PHONEシリーズ」（10.8%）が続く
- 利用用途と使用時間：「メール」（96.7%）、「ウェブサイト閲覧」（95.5%）、「通話」（86.3%）、「カメラ・ムービー撮影」（84.9%）がメイン用途。使用時間が長いのは「ウェブサイト閲覧」「アプリ・ゲーム」「ソーシャルネットワーキング」「音楽プレーヤー」
- 使用しているアプリのカテゴリ：「地図・交通」（75.7%）、「天気」（74.2%）、「ニュース」（61.4%）、「カメラ・ムービー撮影」（59.4%）、「ユーティリティ（便利ツール）」（55.2%）が上位
- 満足度：全体の8割近くが現在使用中のスマートフォンに満足と回答。満足な点は「デザイン」（54.7%）、「操作性」（49.1%）「サイズ」（48.1%）。不満点は「バッテリーの持続時間」（65.0%）がダントツ
- 「iPhone 6」について：回答者全体の3割以上が購入に前向き。購入検討者の約4分の1は「キャリア乗り換え（MNP）」（23.5%）を検討
- 低価格SIMカードについて：全体の半数以上（52.9%）が興味を持っている。「すごく興味・関心がある」という回答者も全体の約2割で、潜在ユーザーは多い

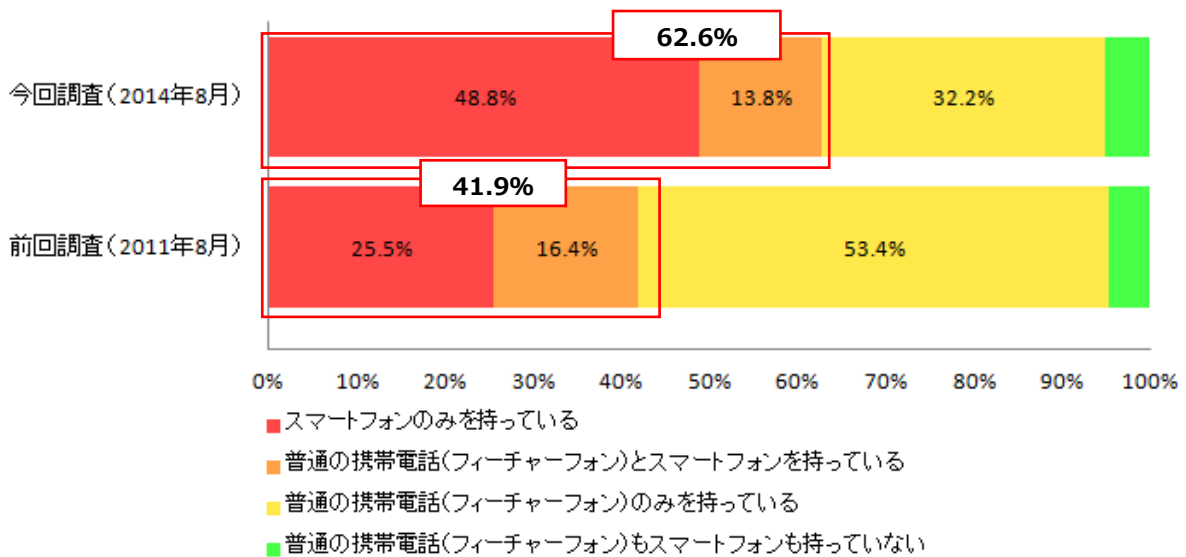
※本アンケート実施時（2014年8月12日～18日）には、「次期iPhone」という名称にて調査を実施

**所有率：「スマートフォンを所有している」62.6%、前回調査（2011年8月）から20.7ポイント上昇。若年層では7割超、60歳以上のシニア層でも約4割が所有**

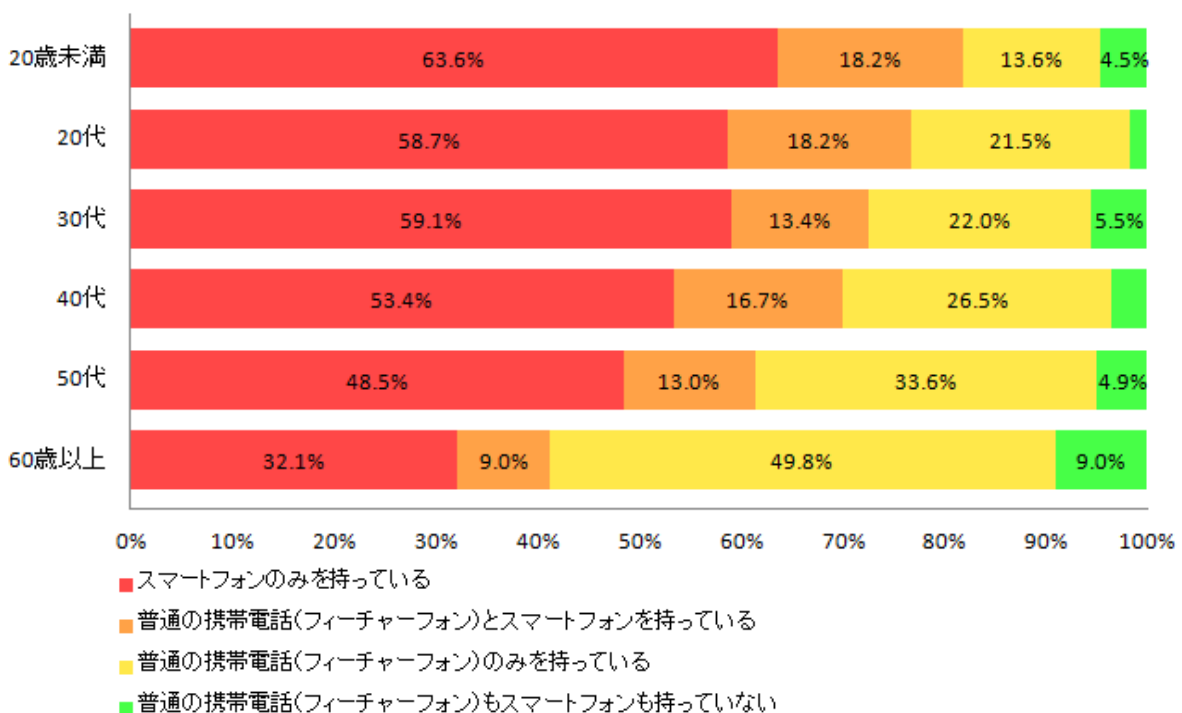
スマートフォンの所有率を調べると、「スマートフォンのみを持っている」がもっとも多く、約半数の48.8%。「普通の携帯電話とスマートフォンを持っている」（13.8%）という回答と合わせると、全体の62.6%がスマートフォンを所有しているという結果。3年前に行った前回調査（2011年8月実施）では41.9%だったので、この3年間で20.7ポイント上昇したことに。

年代別では若年層ほどスマートフォンの所有率が高く、20歳未満（81.8%）では全体の8割を超え、20代（76.9%）、30代（72.5%）も、軒並み7割を超えている。一方、60歳以上の所有率は41.1%とかなり下がるものの、シニア層でも4割の人がスマートフォンを所有していることから、すでに年齢を問わずスマートフォンの利用が一般的になっていることがうかがえる。

【図1. スマートフォンの所有率】（N=アンケート回答者全員）



【図2. スマートフォンの所有率（年代別）】（N=アンケート回答者全員）



**現在使用中の端末をいつから使っているか:「1~2年前」(21.9%)、「2~3年前」(21.7%)**

**現在使用中の端末は何台目か:「1台目」(40.5%)が最多、次いで「2台目」(32.5%)**

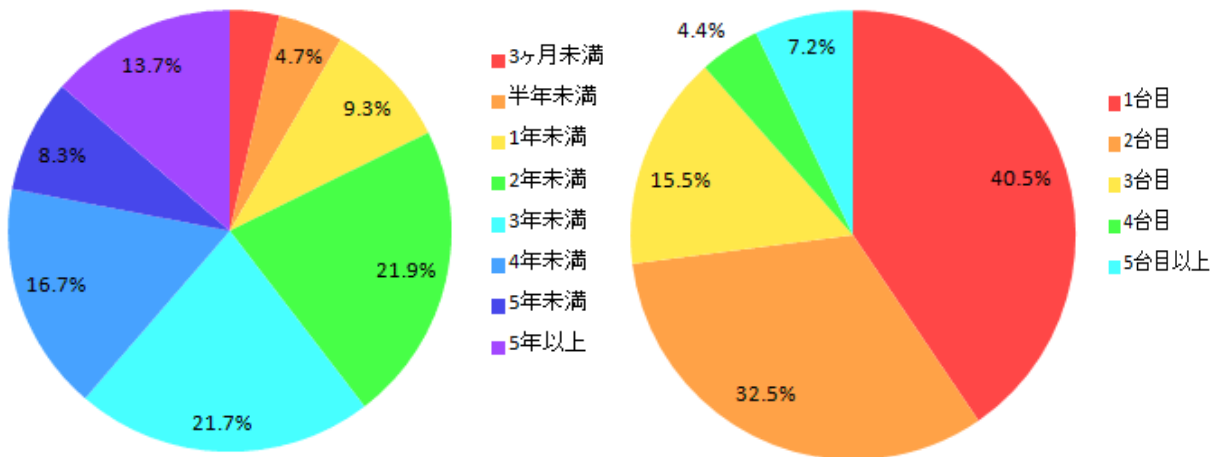
現在メインで使っているスマートフォンをいつから使っているか、また何台目の端末になるのかを聞いたところ、利用歴は、「1~2年前」(21.9%)、「2~3年前」(21.7%)という回答が多く、Androidスマートフォンの種類が増え、端末を選びやすくなった時期と重なる結果となった。Android端末がスマートフォンの普及に大きな役割を果たしたと見てよさそうだ。

また、現在メインで使っているスマートフォンが何台目の端末になるのかを聞いたところ、「1台目」が最多で40.5%、次いで「2台目」が32.5%となり、この2つで全体の7割強を占めた。「ここ1~2年くらいの間に初めてのスマートフォンを購入したユーザー」と「ここ2~3年の間に初めてのスマートフォンを購入して、すでに一度乗り換えを経験したユーザー」というのが、もっとも多いパターンと言えそうだ。

【図 3. 現在使用中の端末をいつから使っているか】

【図 4. 現在使用中の端末は何台目か】

(N=図1で「スマートフォンのみを持っている」「普通の携帯電話(フィーチャーフォン)とスマートフォンを持っている」を選んだ回答者のみ)



**所有メーカー:「iPhoneシリーズ」(34.6%)が依然トップ。「Xperiaシリーズ」(18.0%)、「AQUOS PHONEシリーズ」(10.8%)が続く**

現在メインで使っているスマートフォン端末は、やはりアップルの「iPhoneシリーズ」の所有率が高く、なかでももっとも早くから発売していた、ソフトバンク版の「iPhoneシリーズ」が16.0%と最も多い数となった。また、au版の「iPhoneシリーズ」も合計12.8%と多い。NTTドコモの「iPhoneシリーズ」は、発売から1年しか経っていないこともあって、5.9%にとどまっている。これら3キャリアの数を足し上げると、アップルの「iPhoneシリーズ」は34.7%のシェアということになった。3年前の調査時における「iPhoneシリーズ」のシェアは38.4%だったので、シェアとしては3.7ポイントのマイナスとなるが、それでも、依然として3分の1程度の人が「iPhone」を使っていることになる。

これに対して、伸長著しいのがAndroid端末だが、なかでも、ソニーの「Xperiaシリーズ」がもっとも多く、NTTドコモとauの2キャリア合計で18.0%、次いでシャープの「AQUOS PHONEシリーズ」が3キャリア合計で10.9%という結果になっている。「iPhone」の優位性は今でも変わらないが、この3年でじわじわとAndroid端末が浸透してきており、「Xperiaシリーズ」や「AQUOS PHONEシリーズ」など、人気シリーズのファンも増加傾向にある。逆に、このほかのシリーズのシェアはどれも1割に満たず、国内におけるスマートフォン市場でやや勝ち負けがハッキリ見えてきた形だ。

◆使用しているスマートフォンのメーカー: <http://kakaku.com/research/report/080/p02.html#graph5-1>

## 利用用途：「メール」(96.7%)、「ウェブサイト閲覧」(95.5%)、「通話」(86.3%)、「カメラ・ムービー撮影」(84.9%)がメイン用途

スマートフォンの利用用途を聞いたところ、「メール」(96.7%)、「ウェブサイト閲覧」(95.5%)、「通話」(86.3%)、「カメラ・ムービー撮影」(84.9%)が、スマートフォンのメイン利用用途であることがわかった。意外にも、「アプリ・ゲーム」は75.1%、「ソーシャルネットワーキング」は66.5%と、さほど高くはない。最近流行している「動画鑑賞」なども64.9%と、全体の3分の2程度の利用にとどまっている。これらのエンターテインメント利用は、若年層を中心に人気だが、すべての年齢層でならしてみると、さほど高くはならないようだ。

なお、使用時間について見ると、「ウェブサイト閲覧」や「アプリ・ゲーム」「ソーシャルネットワーキング」「音楽プレーヤー」といった用途は、1日に30分以上使用するという人の割合が比較的高めだが、「メール」「通話」「カメラ・ムービー撮影」などは、おおよそ30分未満の使用で済むことが多いようだ。多くのユーザーは、「ウェブサイト閲覧」中心でスマートフォンを使っており、それ以外の用途は単発的な利用に限られると言えそうだ。

◆スマートフォンの利用用途・使用時間：<http://kakaku.com/research/report/080/p03.html#graph10-1>

## よく利用されているアプリのカテゴリ：「地図・交通」(75.7%)、「天気」(74.2%)、「ニュース」(61.4%)、「カメラ・ムービー撮影」(59.4%)、「ユーティリティ(便利ツール)」(55.2%)が上位

よく利用されているアプリのカテゴリは、「地図・交通」(75.7%)と「天気」(74.2%)。こうしたアプリはたいしてOSの基本アプリとして組み込まれているだけに利用頻度も高くなる傾向に。このほかでは、「ニュース」(61.4%)、「カメラ・ムービー撮影」(59.4%)、「ユーティリティ(QRコード読み取りなどの便利ツール)」(55.2%)などが比較的多く使われている。なかでも「ニュース」については、「SmartNews」や「グノシー」といったニュースアプリが流行っているが、この結果にもこうしたニュースアプリの利用の多さが見受けられる。このほかでは、「LINE」や「Skype」などの「無料通話」が44.2%、「Facebook」などの「ソーシャルネットワーキング」が42.4%となっており、「ゲーム」の40.0%を上回る利用度になっている。

◆よく利用されているアプリのカテゴリ：<http://kakaku.com/research/report/080/p03.html#graph11-1>

## 満足度：全体の8割近くが現在使用中のスマートフォンに満足と回答。満足な点は「デザイン」(54.7%)、「操作性」(49.1%)「サイズ」(48.1%)。不満点は「バッテリーの持続時間」(65.0%)がダントツ

現在利用しているスマートフォンの満足度については全体的に高く、「やや満足」(53.7%)と「非常に満足」(23.3%)を合わせると、全体の8割近くが、現在使っているスマートフォンに満足していることがわかる。以前と比べると、スマートフォンの処理性能が全体的にアップし、また、バッテリーの消耗についてもかなり改善されてきていることが、こうした満足度をアップさせている大きな理由だろう。

また、満足度が高い項目としては、「デザイン」(54.7%)、「操作性」(49.1%)、「サイズ」(48.1%)、「液晶画面の画質・サイズ」(45.5%)、「機能・アプリケーション」(40.7%)など。端末のサイズやデザイン、画面解像度といった基本スペックについては満足度が高い傾向のようだ。また、OSの操作性、アプリといったソフトウェア面に関しても、満足度は高めにあると言っていいだろう。逆に、不満点としては「バッテリーの持続時間」(65.0%)ダントツに。以前より改良されてきたとはいえ、まだ不満点として筆頭にあげられている。

◆現在使用しているスマートフォンの満足度：<http://kakaku.com/research/report/080/p04.html#graph12-1>

**「iPhone 6」\*について：回答者全体の3割以上が購入に前向き。購入する場合の契約形態は「機種変更」(61.7%)が大勢を占める一方、約4分の1は「キャリア乗り換え(MNP)」(23.5%)を検討**

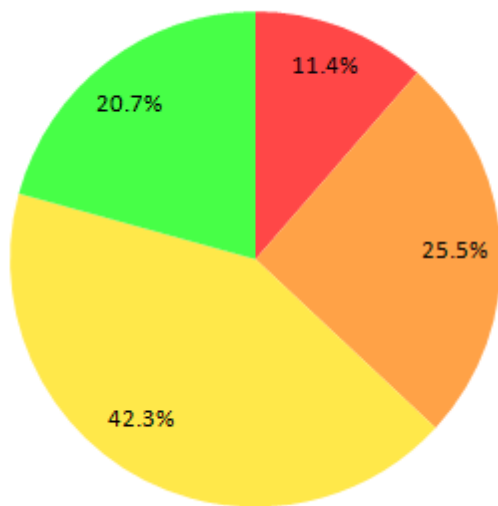
新たに発表されたばかりの「iPhone 6」であるが、まだ製品概要が発表されていない時点（調査期間：2014年8月12日～8月18日）で、購入意欲をうかがった。まだスペックなどの詳細は発表されていない段階だったので、あくまでも製品発表前の参考程度となるが、もっとも多かったのは「購入したいと思わない」(42.3%)。「購入したい」は11.4%で、「具体的な予定はないが、今後購入したい」が25.5%、「わからない」が20.7%という結果になった。回答者全体の3分の1程度が、購入する、あるいは購入を検討すると回答しており、いまだに「iPhone」の人気が高いことをうかがわせる結果となっている。

続いて、「iPhone 6」の購入意欲のある人に、購入する場合の契約形態について聞いたところ、同一キャリアでの「機種変更」(61.7%)が圧倒的に多い結果となった。ただ、「キャリア乗り換え(MNP)」と回答した人も全体の約4分の1にあたる23.5%存在し、「iPhone 6」の発売を機に、通信キャリアを変更しようと考えている人も相当数いることがわかる。逆に、新規契約はほとんどなく、期待される「SIMフリー端末の購入」と回答した人が11.6%にのぼるなど、通信キャリアは自分で自由に選びたいと考えている人も一定数いるなど、ユーザーのキャリア離れが加速している様子がうかがえる。

\*アンケート（2014年8月12日～18日実施）では、「次期 iPhone」という名称で調査を行っています

【図 5. 「iPhone 6」の購入意欲】

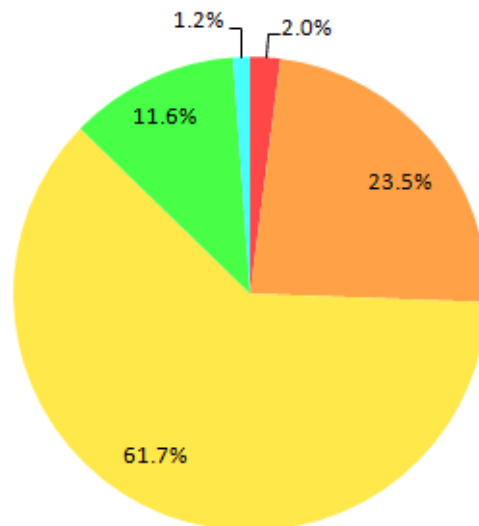
N=アンケート回答者全員



- 購入したい
- 具体的な予定はないが、今後購入したい
- 購入したいと思わない
- わからない

【図 6. 「iPhone 6」を購入する際の契約形態】

N=図 5 で「購入したい」「具体的な予定はないが、今後購入したい」を選んだ回答者のみ



- 新規
- 乗り換え(MNP)
- 機種変更
- SIMフリーの端末を購入
- その他

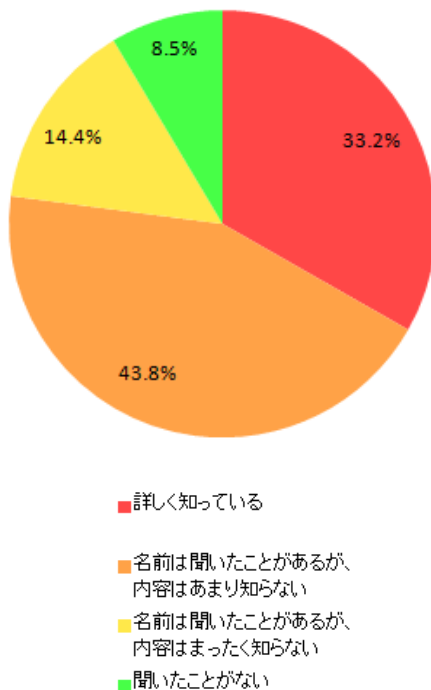
**低価格SIMカードについて：認知率は約 8 割と高いものの、内容を理解している人は全体の 3 分の 1 程度。全体の半数以上が興味・関心を持っていて、潜在ユーザーは多い**

最近増えてきた「SIMフリー端末」に関連して、低価格で使えるSIMカードがどれくらい認知されているのかを聞いてみた。もっとも多かったのは、「名前は聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」で 43.8%。次いで、「詳しく知っている」の 33.2%となった。逆に「聞いたことがない」は 8.5%のみと少なく、何らかの形で「低価格SIMカード」について聞いたことがあるという人がほとんどだった。

また、「低価格SIMカード」について概要を説明した上で、興味・関心度合いを聞いたところ、半数以上の方が興味自体はあると回答しており、今後認知が高まってくれば、購入を検討しそうな潜在ユーザーは意外と多いことがわかる。さらに 2 割近くの方が「すごく興味・関心がある」と回答しており、こここのところ増えてきた「低価格SIMカード」に対する関心は高いといえそうだ。

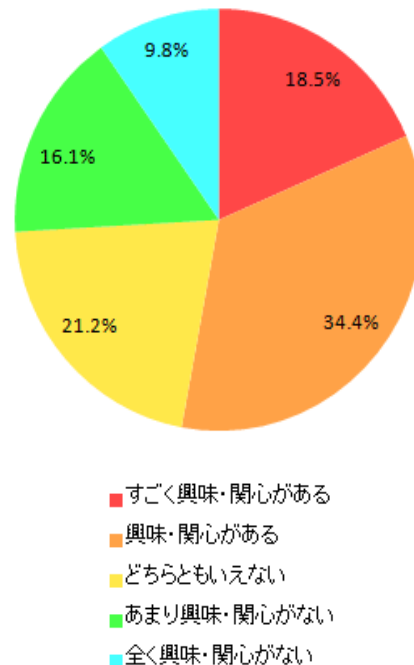
【図 7. 低価格 SIM カードの認知度】

N=アンケート回答者全員



【図 8. 低価格 SIM カードの内容を説明した上での興味・関心度】 N=アンケート回答者全員

N=アンケート回答者全員



**総評： 鎌田剛 カカクコム メディアクリエイティブ部 部長**

スマートフォンの所有率は、全体の 3 分の 2 近い 62.2%が所有しているという結果となり、前回調査を行った 3 年前に比べ 20.7 ポイント上昇したことになる。

端末については、今から 1~3 年前に購入したという人が多く、この期間だけで全体の 4 割強を占めた。所有するスマートフォンとしては 1 台目という人も全体の 4 割程度で、Android 端末の数が増えてきた 3 年前くらいから、スマートフォンに切り替えたという人が多そうだ。

端末の種類では、やはりアップルの「iPhone」シリーズがもっとも多く、国内で販売している 3 キャリア合計で 34.7%のシェアとなった。ただし、前回調査と比べると 3.7 ポイントのマイナスだ。いっぽう、伸長めざましいのが Android 勢で、全体の 6 割以上はすでに Android 端末となっている。ブランドでは、ソニーの「Xperia」シリーズが最も多く全体の 18.0%、次いでシャープの「AQUOS PHONE」シリーズが 10.9%と続く。

スマートフォンの利用用途は「WEB 閲覧」と「メール」がダントツで多く、それ以外の機能では「カメラ・ムービー撮影」が比較的良好に利用されている。逆に「アプリ・ゲーム」や「ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）」は、全体の 7 割前後の利用と、さほど高い利用割合とはなっていない。なお、ウェブサイト閲覧以外の用途では、ほとんどの利用が 30 分未満の利用で済んでいる。

また、現在使っているスマートフォンの満足度は比較的高く、全体の約 4 分の 3 のユーザーが、「満足」と回答した。なかでも、「デザイン」「操作性」（49.1%）「ボディサイズ」「液晶画面の画質・サイズ」「機能・アプリケーション」などの満足度が高い。逆に不満点としては、「バッテリーの持続時間」がダントツで高く、以前と比べれば改善されてきたとはいえ、いまだにスマートフォンの最大の課題がバッテリー問題であることもわかった。このほか、「通信料金」にも不満を感じている人は多いようだ。

最後に、新たに発表されたアップルの「iPhone 6」への関心であるが、回答者の約 3 分の 1 のユーザーが「購入する・検討する」と回答している。Android 勢に押され若干シェアが下がってきているとはいえ、「iPhone」の人気はいまでも引き続き高い水準にあると言える。また、最近増えてきた「低価格 SIM カード」についても、まだ認知度はさほど高くはないものの、興味・関心は比較的高く、今後サービス認知が高まってくるにつれ、製品を購入するユーザーも増加しそうな勢いだ。

※詳細結果、総評全文および過去のリサーチアーカイブは以下 URL をご参照ください

<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

#### 【調査パネル】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査 回答者数：4,127 人

男女比率：男 92.4%：女 7.6%

調査期間：2014 年 8 月 12 日～2014 年 8 月 18 日

調査実施機関：株式会社カカコム

※四捨五入による端数処理のため、合計が 100%にならないことがあります。

#### 【価格.com サイトデータ】（2014 年 6 月末現在）

月間利用者数 4,483 万人、月間ページビュー 8 億 6,703 万 PV、累計クチコミ件数約 1,800 万件

<利用者内訳> PC：2,724 万人 スマートフォン：1,706 万人 フィーチャーフォン：53 万人

#### 【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報室 e-mail: [pr@kakaku.com](mailto:pr@kakaku.com)

#### データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

#### クレジット表示例

- ・「価格.com リサーチ」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…